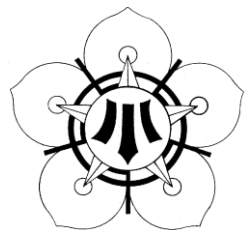


地域と家庭と学校が一つになって子どもを育む…それが“チーム七小”です！



福生第七小学校ホームページ

<http://fussa-7e.hs.plala.or.jp/>

くさぶえ

福生市立福生第七小学校

令和4年度 学校だより

発行責任者

校長 山岸 史子

所在地

福生市北田園一丁目1番地1

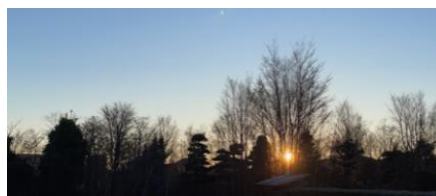
令和 5年1月10日 発行

新しい年を迎えて

校長 山岸 史子

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

この年末年始、関東地方は晴天に恵まれ、爽やかな年明けとなりました。卯年である今年
はウサギのように力強く跳躍・飛躍の一年に…
というものと、ウサギのように長い耳で状況を
しっかり捉えて慎重に…というものがあり、
はてさてどのように生きてゆこうかと年明けか
ら頭を悩ませております。



≒今年の
初日の出

干支の考え方も、世界中どこにでもあるものではありません。国によって様々な新年の迎
え方・祝い方があり、正月の祝賀の日も異なるところもあります。他の国ではどんな料理で
祝うのかな、どんなことをするのかと関心をもち、自分で調べてみた子もいるでしょう
か。iPad 活用にはもってこいの場面です。便利な時代になりました。

日本の伝統的な年末年始やお正月と言えば、大掃除、しめ縄飾り、門松、年賀状、除夜の
鐘、初日の出、おせち、お雑煮、初詣、お年玉、初夢、書初め、七草粥、どんと焼き、かる
た取り、百人一首、こま回し、凧揚げ、双六、福笑い、羽根つき…等々、このようなものを
思い浮かべます。また、「一年の計は元旦にあり」という言葉があるように、今年何をする
か（目指すか）ということの計画（未来への目標）は、年頭（正月）にするのが良いとされ
ています。書初めも「字がうまくなるように」という思いを込めて、真剣に取り組むもの
です。私の世代では当たり前であったものですが、これもどのくらい現代の子どもたちと共有
できるでしょうか。当たり前のように親から子へと伝わってきたものですが、今のようにス
ピード感のある変化の時代においては意識していないと次々と別のものに置き替わってい
ってしまうのではないかと、寂しさを感じることもあります。

とはいえ、いつの時代も「新しい年の幕開け」には世界中の人々が幸福を期待し、より良
くなることを願っていることは変わりません。身近なことからグローバルなことまで含め、
自分にとっても、自分以外の人にとっても良い年となるように心から願うものです。

新しい始まりは、自分自身にもエンジンをかけなおすチャンスだと思います。学年の変わ
り目、学期の変わり目、毎月1日、毎週月曜日、毎朝目覚めた瞬間…。自分で決めればいく
つもあるそのチャンスですが、その中でも新年を迎えたこの機会は大きな始まりです。ぜ
ひ、ご家族で、自分の頑張りたい事や叶えたいことを宣言しあって、互いに応援しながら目
標達成を目指してみてはいかがでしょうか。一人で頑張る以上の力を発揮できると思いま
す。子どもたちは、ご家族の皆さんが応援し、支えてくれていると実感することで、大きな
成長を見せてくれることでしょう。